

令和8年度 関東高等学校バドミントン大会  
第72回 関東高等学校バドミントン選手権大会  
実施要項

- 1 主 催 関東高等学校体育連盟 関東バドミントン連盟 東京都教育委員会
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟バドミントン専門部 東京都高等学校体育連盟  
東京都バドミントン協会
- 3 後 援 公益財団法人東京都スポーツ協会 調布市教育委員会 調布市バドミントン協会
- 4 大会日程 令和8年6月5日(金)～6月7日(日)  
監督会議 令和8年6月5日(金) 13時30分から  
開 会 式 令和8年6月5日(金) 15時00分から  
競 技 令和8年6月6日(土)～6月7日(日) 9時30分競技開始  
閉 会 式 令和8年6月7日(日) 競技終了後
- 5 会 場 『京王アリーナTOKYO』  
〒182-0032 調布市西町290-11【最寄駅：京王線飛田給駅】  
TEL：042-488-8607 FAX：042-488-3633  
\*監督会議は、京王アリーナTOKYO内の会議室で行う。
- 6 種 目 学校対抗(男・女)
- 7 競技規則 本大会実施要項及び令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程、  
同公認審判員規程による。
- 8 競技方法 (1)トーナメント戦方式で行い、3位決定戦は行わない。  
(2)試合順序は、複1・単・複2で実施する。ただし、兼ねることはできない。  
(3)1対抗戦は、2マッチ先取とする。
- 9 使用器具 現行の(公財)日本バドミントン協会検定・審査用器具及び令和8年度第1種検定合格水鳥球  
を使用する。
- 10 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する  
生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2)選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、バドミントン専門部に登録し、当該競  
技要項により参加資格を得たものに限る。  
(3)年齢は、2007年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回ま  
でとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(4)各都県の出場校数は、次の通りとする。  
栃木県(男女各4校) 千葉県(男女各4校) 茨城県(男女各4校)  
埼玉県(男女各5校) 山梨県(男女各4校) 神奈川県(男女各5校)  
群馬県(男女各4校) 東京都(男女各7校)  
(5)(公財)日本バドミントン協会に令和8年度登録済みのもの。  
(6)チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(7)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8)転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家  
転住等やむを得ない場合は、当該都県の高高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りで  
はない。  
(9)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会  
長の承認を必要とする。

(10) 参加資格の特例

- ア 上記 10(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により本大会参加資格を満たすと判断され、各都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記 10(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1)大会参加資格を認める条件
    - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。  
また、連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ関東大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2)大会参加に際し守るべき条件
    - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 11 参加制限
  - (1) チーム編成は、1チーム監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名(同一校選手)とする。また、選手5名を欠いた場合はチームとして認めない。男女同一校が出場する場合は、それぞれに監督をつけること。なお、マネージャーは、当該校の職員または生徒とし、マネージャーが生徒の場合は選手を兼ねることができる。
  - (2) 外国人留学生の出場枠について
    - ア 学校教育法第1条規定『高等学校卒業を目的として入学している生徒』であること。
    - イ 在籍校が、各都県高等学校体育連盟に加入していること。
    - ウ 年齢は2007年4月2日以降に生まれた者とする。
    - エ 短期留学は除く。
    - オ 外国人留学生の参加についての申込みは2名以内とし、対抗戦の出場は、その出場人数(1名又は2名)に関わらず、1試合とする。
- 12 引率監督
  - (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手の全ての行動に対し、責任を負うものとする。
  - (2) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は都県高体連会長に届け出ること。
  - (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督がこの基準より限定された範囲であればその規定に従うことを原則とする。
- 13 表彰 学校対抗1位から3位まで表彰する。

14 参加料 (1) 参加料

学校対抗1チーム 30,000円

(2) 納入方法

- ア 参加申込と同時に、下記口座に振り込むこと。(必ず学校名で振り込むこと)  
 イ プログラム代金(無料分を除く、1部1,000円)も合わせて振り込むこと。  
 ウ 振り込み先

金融機関名	ゆうちょ銀行
口座名義	東京都高等学校体育連盟バドミントン専門部
記号	10160
番号	68818861
店名	0一八
店番	018
預金種目	普通預金
口座番号	6881886

15 申し込み

- (1) 参加校は、関東高等学校体育連盟のホームページから大会参加申込書データをダウンロードし、必要事項を入力すること。  
 (2) 入力後、次の2点を提出すること。  
 ① 大会参加申込書データを印刷し、校印を押したうえでPDFデータ化したもの【様式1】  
 都県専門部委員長または都県事務局へ提出すること(各都県の定める方法に従うこと)。  
 ② 入力した大会参加申込書のエクセルデータ【様式2】  
 東京都バドミントン専門部委員長(開催都県専門部)へ提出すること。  
 (3) 参加校は、【様式1】及び【様式2】を5月15日(金)までに提出すること。  
 都県専門部委員長は【様式2】を5月22日(金)までに提出すること。  
 都県事務局は【様式1】を5月22日(金)までに提出すること。  
 (4) 監督、コーチ、マネージャー及び選手の変更は所定の用紙を使用し、令和8年6月5日(金)12時から13時までに「受付」に提出すること。ただし、追加は認めず、選手の変更は病気、事故等によるものとする。  
 (5) <個人情報の取り扱いに関して>  
 大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳細は、「関東高等学校体育大会参加における個人情報及び肖像権にかかわる取り扱いについて」を参照)

16 組合せ

関東高等学校体育連盟バドミントン専門部が指名した競技役員長(レフェリー)の指示の下、本専門部役員との間で厳正に執り行う。

17 宿泊費

宿泊料金は、1泊3食 A:17,500円(内税)、B:15,500円(内税)、C:14,000円(内税)とする。なお、弁当代1,200円、夕食代1,500円の現金配布を含む。詳細は、『宿泊要項』を参照のこと。宿泊場所が決定次第、各校に連絡する。

18 競技上の注意

- (1) 試合は、タイムテーブル順に流し込みで行う。試合進行状況によって、コートを並行することもある。試合が連続する場合は、20分以上のインターバルを与える。  
 (2) オーダーの交換は、試合開始前に放送で指示をする。1巡目のオーダー交換は9時00分とする。  
 (3) 集合は、放送にて指示をする。放送後、速やかに直接コートに集合すること。ベンチサイドは、主審に向かって右側を先番チームとする。  
 (4) 試合前の練習は、試合ごとに両校同時に2分間とする。  
 (5) 写真の『フラッシュ撮影』は禁止する。

- (6) 今大会は、ゲーム中の給水を条件付で認める。  
ア 容器は、倒れてもこぼれない蓋付の容器を使用すること。  
イ 容器は、設置(主審の横)してある容器入れの中に入れること。
- (7) クーラーボックスのフロアー内への持ち込みは禁止する。
- (8) 氷嚢の使用はインターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れること。
- 19 審判上の注意 (1) 各試合とも、準決勝以降はサービスジャッジをつける。その他の試合は原則としてサービスジャッジはつけない。  
(2) マッチ(試合)中、シャトルがインプレーでない時のみ、プレーヤーはコーチからアドバイスを受けることができる。  
(3) それぞれのゲーム間に120秒を超えないインターバルを、また、ゲーム中どちらかのサイドのスコアが最初に11点に達したとき60秒を超えないインターバルを認めるが、競技区域に入れる監督・コーチ等は同時に2名までとする。そして、主審の「20秒」のコールで競技区域内から離れること。  
(4) 審判員の判定に対して疑問のある場合は、当該プレーヤーと監督に限り質問することが認められる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。
- 20 参加上の注意 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は保険証を持参すること。
- 21 備考 (1) 練習会場は設けない。  
(2) 競技時の服装及びシューズは(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。  
(3) 露出するインナーウェアについては、(公財)日本バドミントン協会審査合格品競技ウェアのみ認める。  
(4) 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び都県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。【上段—学校名(やや大きく)、下段—都県名】  
ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色又は濃紺色とする。)  
(5) 参加校は、6月5日(金)12時から13時までに会場内『受付』で受付をすること。その際、指定のシャトル1ダース(ケースに学校名を記入)を提出し、翌日のオーダー用紙、プログラム、IDカード等を受け取る。  
(6) プログラムは学校対抗各校4部を無料とする。  
(7) プログラムのミスプリントの訂正については、6月5日(金)12時から14時までに所定の用紙を『受付』に提出すること。  
(8) 飲食物、ゴミ等の後始末は各校の責任で行うこと。  
(9) 履物は『屋内用』『屋外用』の区別をはっきりすること。  
(10) 会場内のロビー等での練習は禁止する。アリーナ内の施設・設備に損害を与えた場合には弁償してもらうこともある。  
(11) 会場内の共有スペースの占有利用は認めない。  
(12) 開会式は次のとおりとする。  
ア 選手集合は6月5日(金)14時30分京王アリーナ TOKYO とする。【時間厳守】  
イ 部旗を持って参加できる。ただし、旗竿は各校で用意すること。  
ウ 選手は試合用ユニフォームまたはチームウォームアップジャージを着用すること。  
(13) 監督会議は、13時30分より京王アリーナ TOKYO 内の会議室で行う。  
(14) 審判会議は、16時30分より京王アリーナ TOKYO 内の会議室で行う。